

(2007年1月21日実施)

主催 全国商業高等学校協会

制限時間 30分

平成18年度 (第36回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級実技

ある海産物業者は、あわびとさざえを買い付けて販売している。本日買い付けたあわびとさざえのうち、LサイズとMサイズは契約しているホテルと料理店に販売し、Sサイズはあわびとさざえを2種類のセットにして直売所で販売する。本日の買付表から、販売額が最も大きくなるように本日の販売計画書を作成することになった。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。また、シート4のA1のセルに受験番号が入力されているか確認しなさい。

種類コード表	
種類コード	種類名
AW	※
SZ	※

(シート1)

買付表			
No	買付コード	種類名	サイズ
1	SZM	さざえ	M
2	AWM	※※	※※
3	SZM	※※	※※
4	SZS	※※	※※
497	SZM	※※	※※
498	AWS	※※	※※
499	SZL	※※	※※
500	SZS	※※	※※

D4 = RIGHT(B4, 1)
A3~D503H11覆ひく
データピボットテーブル
2x1 2x1
既存のワークシート
シート3 A2 完了
(シート2)

資料1 種類コード表

種類コード	種類名
AW	あわび
SZ	さざえ

資料2 買付表

No	買付コード	種類名	サイズ
1	SZM	さざえ	M
2	AWM	あわび	M
3	SZM	さざえ	N
4	SZS	さざえ	S
497	SZM	さざえ	M
498	AWS	あわび	S
499	SZL	さざえ	L
500	SZS	さざえ	S

資料3 L, Mサイズの売値表

種類名	売値(円)	
	L	M
あわび	2,000	1,500
さざえ	200	160

資料4 Sサイズのセット表

種類名\セット名	海の幸	海の恵
あわび(個)	4	2
さざえ(個)	2	10
セット売値(円)	4,000	3,000

データの個数 / 買付コード	サイズ	合計			
種類名	L	M	S	総計	
あわび		13	※※	※※	※※
さざえ		※※	※※	214	※※
総計		※※	148	※※	500

(シート3)

処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。
設定する書式: 野線, 列幅, 数値につける3けたごとのコンマ
- シート1は、次のように作成する。
B列の「種類名」の※印の部分は、資料1のデータを入力する。なお、種類コードは半角英字である。
- シート2は、次のように作成する。
 - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
 - C列の「種類名」の※※印の部分は、B列の「買付コード」の左端から2文字をもとにシート1の「種類コード表」を参照して表示する。 **LEFT**
 - D列の「サイズ」の※※印の部分は、B列の「買付コード」の右端の1文字を抽出する。 **RIGHT**
- シート3は集計作業用シートで、次のように作成する。
シート2のデータをアプリケーションソフトのデータ集計機能を利用して集計する。
- シート4は、次のように作成する。
 - 「1. 買付数集計表」は、シート3から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。
 - 「2. Lサイズの販売表」は、次のように作成する。
 - C列の「買付数」は、「1. 買付数集計表」の適切な数値を表示する。
 - D列の「売値」の※印の部分は、資料3のデータを入力する。 **E13**
 - E列の「金額」は、「買付数 × 売値」の式で求める。
 - 15行目の「合計」は、13~14行目の合計を求める。
 - 「3. Mサイズの販売表」は、「2. Lサイズの販売表」と同様で作成する。
 - 「4. Sサイズの販売表」は、次のように作成する。
 - C25~D27の※印の部分は、資料4のデータを入力する。
 - E25の「計」は、次の式を入力しておく。
「海の幸のあわびの個数 × 海の幸のセット数 + 海の恵のあわびの個数 × 海の恵のセット数」
E25の設定例: =C25* \$C\$28 + D25 * \$D\$28
 - E26~E27の「計」は、E25と同様の式を入力しておく。
E26~E27の設定例: E25の式をコピーする。
 - F列の「買付数」は、「1. 買付数集計表」の適切な数値を表示する。
 - C28~D28の「セット数」は、E25~E26の「計」がF25~F26の「買付数」以下で、E27の「計」が最大になるようにアプリケーションソフトのデータ分析機能を利用して求める。
設定例 目的セル: E27 目標値: 最大値 変化させるセル: C28~D28
制約条件: E25はF25以下, E26はF26以下, C28~D28は整数, C28~D28は0以上 **G25**
 - G列の「残数」は、「買付数 - 計」の式で求める。 **B31**
- 「5. 本日の販売計画額」は、「2. Lサイズの販売表」~「4. Sサイズの販売表」の販売額の合計を求める。ただし、残数は販売しないものとする。
- グラフは、「1. 買付数集計表」のサイズ別総計と「2. Lサイズの販売表」~「4. Sサイズの販売表」の販売額から作成する。
 - グラフの※※印の部分は、表に入力された値を表示する。
 - 割合の数値軸は、目盛りの最小値(0%), 最大値(100%)および間隔(20%)を設定する。
 - 凡例の位置、数値軸ラベルの方向を設定する。

本日の販売計画書

買付数集計表				
種類名	サイズ	総計		
	L	M	S	総計
あわび	13	※※	※※	※※
さざえ	※※	※※	214	※※
総計	※※	148	※※	500

2. Lサイズの販売表

種類名	買付数	売値	金額
あわび	13	※	26,000
さざえ	※※	※	※※
合計		※※	

C13=C7 **E13=C13*D13**

3. Mサイズの販売表

種類名	買付数	売値	金額
あわび	※※	※	※※
さざえ	※※	※	※※
合計		65,220	

C19=D7 **E19=C19*D19**

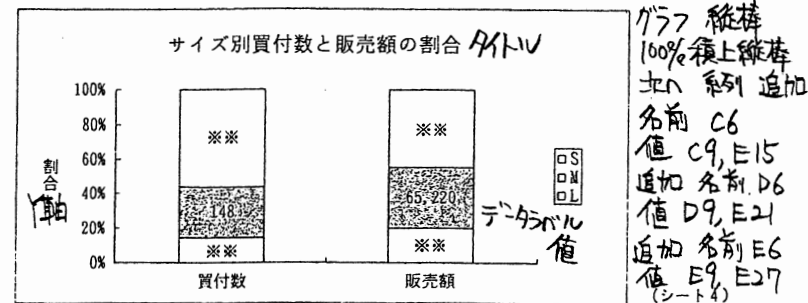
4. Sサイズの販売表

種類名	海の幸	海の恵	計	買付数	残数
あわび	※	※	※※	※※	1
さざえ	※	※	※※	214	※※
セット売値	※	※	※※		
セット数	※※	※※			

F25=E7 **F26=E8** **G25=F25-E25**

5. 本日の販売計画額

※※ 円 **B31 = E15 + E21 + E27**



17

(2007年1月21日実施)

主催 日本全国商業高等学校協会

制限時間 30分

平成18年度(第36回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級実技

ある海産物業者は、あわびとさざえを買い付けて販売している。本日買付けたあわびとさざえのうち、LサイズとMサイズは契約しているホテルと料理店に販売し、Sサイズはあわびとさざえを2種類のセットにして直売所で販売する。本日の買付表から、販売額が最も大きくなるように本日の販売計画書を作成することになった。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。また、シート4のA11のセルに受験番号が入力されているか確認しなさい。

資料1 種類コード表
種類コード 種類名
AW あわび
SZ さざえ

資料2 買付表
No 買付コード 種類名 サイズ
1 SZM さざえ M
2 AWN あわび M
3 SZM さざえ M
4 SZS さざえ S
500 SZN さざえ M
498 AWS あわび S
499 SZL さざえ L
500 SZS さざえ S

資料3 L, Mサイズの売値表
種類名 売値(円)
あわび L: 2,000 M: 1,500
さざえ L: 200 M: 160

資料4 Sサイズのセット表
種類名\セット名 海の幸 海の恵
あわび(個) 4 2
さざえ(個) 2 10
セット売値(円) 4,000 3,000

処理条件

- 1. 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。
設定する書式: 罫線, 列幅, 数値につける3けたごとのコンマ
2. シート1は、次のように作成する。
B列の「種類名」の※印の部分は、資料1のデータを入力する。
3. シート2は、次のように作成する。
(1) 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
(2) C列の「種類名」の※※印の部分は、B列の「買付コード」の左端から2文字をもとにシート1の「種類コード表」を参照して表示する。
(3) D列の「サイズ」の※※印の部分は、B列の「買付コード」の右端の1文字を抽出する。
4. シート3は集計作業用シートで、次のように作成する。
シート2のデータをアプリケーションソフトのデータ集計機能を利用して集計する。
5. シート4は、次のように作成する。
(1) 「1. 買付数集計表」は、シート3から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。
(2) 「2. Lサイズの販売表」は、次のように作成する。
① C列の「買付数」は、「1. 買付数集計表」の適切な数値を表示する。
② D列の「売値」の※印の部分は、資料3のデータを入力する。
③ E列の「金額」は、「買付数 × 売値」の式で求める。
④ 15行目の「合計」は、13~14行目の合計を求める。
(3) 「3. Mサイズの販売表」は、「2. Lサイズの販売表」と同様に作成する。
(4) 「4. Sサイズの販売表」は、次のように作成する。
① C25~D27の※印の部分は、資料4のデータを入力する。
② E25の「計」は、次の式を入力しておく。
「海の幸のあわびの個数 × 海の幸のセット数 + 海の恵のあわびの個数 × 海の恵のセット数」
E25の設定例: =C25*\$C\$28+D25*\$D\$28
③ E26~E27の「計」は、E25と同様の式を入力しておく。
E26~E27の設定例: E25の式をコピーする。
④ F列の「買付数」は、「1. 買付数集計表」の適切な数値を表示する。
⑤ C28~D28の「セット数」は、E25~E26の「計」がF25~F26の「買付数」以下で、E27の「計」が最大になるようにアプリケーションソフトのデータ分析機能を利用して求める。
設定例 目的セル: E27 目標値: 最大値 変化させるセル: C28~D28
制約条件: E25はF25以下、E26はF26以下、C28~D28は整数、C28~D28は0以上
⑥ G列の「残数」は、「買付数 - 計」の式で求める。
(5) 「5. 本日の販売計画額」は、「2. Lサイズの販売表」~「4. Sサイズの販売表」の販売額の合計を求める。ただし、残数は販売しないものとする。
(6) グラフは、「1. 買付数集計表」のサイズ別総計と「2. Lサイズの販売表」~「4. Sサイズの販売表」の販売額から作成する。
① グラフの※※印の部分は、表に入力された値を表示する。
② 割合の数値軸は、目盛りの最小値(0%)、最大値(100%)および間隔(20%)を設定する。
③ 凡例の位置、数値軸ラベルの方向を設定する。
6. シート4を報告書として印刷する。

シート1 種類コード表
種類コード 種類名
AW ※
SZ ※

シート2 買付表
No 買付コード 種類名 サイズ
1 SZM さざえ M
2 AWN あわび M
3 SZM さざえ M
4 SZS さざえ S
500 SZN さざえ M
498 AWS あわび S
499 SZL さざえ L
500 SZS さざえ S

シート3 データの個数 / 買付コード サイズ
種類名 L M S 総計
あわび 13 ※※ ※※ ※※
さざえ ※※ ※※ 214 ※※
総計 ※※ ※※ 148 ※※ 500

本日の販売計画書

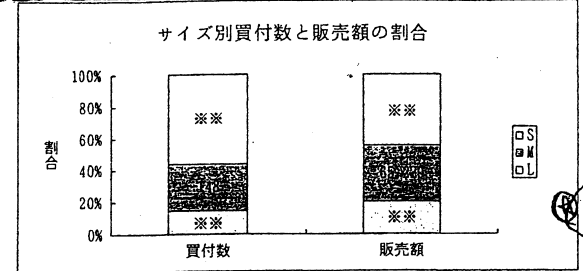
1. 買付数集計表
種類名 サイズ 総計
あわび L: 13 M: ※※ S: ※※ 総計: ※※
さざえ L: ※※ M: ※※ S: 214 総計: ※※

2. Lサイズの販売表
種類名 買付数 売値 金額
あわび 13 ※※ 26,000
さざえ ※※ ※※ 200
合計 ※※ ※※

3. Mサイズの販売表
種類名 買付数 売値 金額
あわび ※※ ※※ 1500
さざえ ※※ ※※ 160
合計 ※※ ※※ 65,220

4. Sサイズの販売表
種類名 海の幸 海の恵 計 買付数 残数
あわび 4 ※ 2 ※※ ※※
さざえ 2 ※ 10 ※※ ※※
セット売値 4,000 ※ 3,000 ※※
セット数 ※※ ※※

5. 本日の販売計画額
※※ 円 (B3) = E15 + E21 + E27



C6~E6, C9~E9 挿入 縦罫 100%積上縦罫 データの選択 系列1 削除
追加 系列名 C6 系列値 C9, E15 OK
追加 系列名 D6 系列値 D9, E21 OK
追加 系列名 E6 系列値 E9, E27 OK
項目自由ラベル 編集 買付数 (B7:F7), (C2:F2) 販売額 OK OK
→タイトル上 罫線削除
軸ラベル 縦 垂直
凡例 枠線
データラベル 中央
軸の書式設定 間隔 0.2